



2020年8月28日

各位

会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 東証マザーズ)
問合せ先 取締役総務部長 田中 英樹
(TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

2020年6月期の連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2019年8月14日に公表した2020年6月期通期連結業績予想と本日公表の実績の間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値との差異

2020年6月期通期連結業績(2019年7月1日～2020年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,600	30	10	2	0円10銭
実績値 (B)	5,067	△82	△91	△114	△4円41銭
増減額 (B - A)	467	△112	△101	△116	
増減率 (%)	10.1%	-%	-%	-%	
(参考) 前期実績 2019年6月期	4,381	163	139	130	5円35銭

2. 差異発生理由

「売上高について」

2020年6月期につきましては、世界的な新型コロナウイルス「COVID-19」確定迅速検査の需要に対応するため、エリテック社向け OEM 製品である全自動 PCR 検査装置や DNA 自動抽出装置の販売とそれらに付属する消耗品(抽出試薬、プラスチック消耗品)の販売が好調に推移したことにより、全体として通期の売上高は5,067百万円(当初計画比467百万円増)となりました。

「営業利益について」

2020年6月期につきましては、上記のとおり売上増加となったものの、試薬量産コストダウンの積極的な設備投資により減価償却費が増加したこと、見込んでいた受注開発案件が獲得できなかったこと等による売上総利益の減益要因(当初計画比△43百万円減)に加えて、全自動 PCR 検査システムの応用開発費用等による販売費及び一般管理費の増加要因(当初計画比69百万円増)により、営業損失は△82百万円(当初計画比△112百万円減)となりました。

以 上